

スポーツ

- ・西部地域のスポーツ施設改修
- ・部活動の見直し
- ・市立体育館を魅力的に



これから4年は、鈴鹿のスポーツに重要な期間です。市立体育館の改修が終わり、三重国体に向けて動きがあるだけでなく、西部地域にある老朽化したスポーツ施設について、新名神開通のインパクトがあるうちに、機能を統合しながら、改修の方向付けをするよう取り組みます。

部活の見直し推進

市立体育館は大規模改修であと25年使うことになりますが、福祉などいろいろな政策課題とスポーツを関係させながら、指定管理者の検討も含めて、魅力を高めるように取り組みます。

農村環境改善センターはその候補地です。野球場をはじめとした敷地は、都市マスター・プランでも相応の位置づけになっています。西部体育館と複合化した屋内運動場の整備、野球場はそのままで、サッカー場を整備すれば、スポーツ観光の拠点になります。

市立体育館を魅力的に

農村環境改善センターはその候補地です。野球場をはじめとした敷地は、都市マスター・プランでも相応の位置づけになっています。西部体育館と複合化した屋内運動場の整備、野球場はそのまま、サッカー場を整備すれば、スポーツ観光の拠点になります。

■一般質問項目（スポーツ関係）■

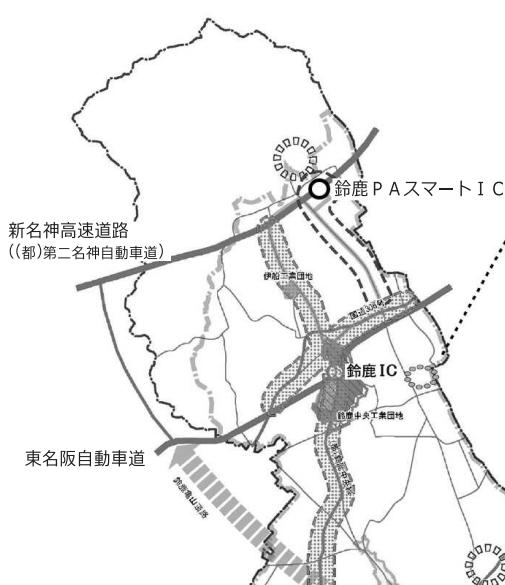
- 2015年
6月「市立体育館休館時の対応」
9月「スポーツ活動の改善」
- 2017年
6月「休館対応と中学部活の改善」
12月「スポーツ施設の指定管理者選定」
- 2018年
3月「農村環境改善センター」
2月「西部スポーツ施設」

農環センターの改修を

H30年 3月、12月一般質問①

西部地域のスポーツ施設改修

農村環境改善センターと西部体育館を複合化する制度とPPPで実現に！



都市マスタープラン
第3章土地利用方針とテーマ別都市づくりの方針
【エリア、市街地形成検討地区】
スポーツ・レクリエーションエリア
農村環境改善センター周辺を位置づけます。
本エリアにおいては、広域交流の促進や農業、スポーツ、文化の融合を図るために、既存施設を活かしたスポーツ施設等の整備を推進します。
※農村環境改善センターはここに位置しています。

- (1) 活力ある都市づくり
③新たな産業や広域交流を育成するための土地利用の促進
○広域交流の促進や農業、文化機能の融合を図るために、既存スポーツ施設におけるレクリエーション機能や交流機能の強化を図ります。
・(仮称) 鈴鹿PAスマートICの整備を契機とし、スポーツツーリズムの視点に立った広域交流の促進や農業・文化機能の融合を図るために、農村環境改善センター等を活用した生涯学習施設等の整備や、テニスコート、サッカーグラウンド等のスポーツ施設の整備を推進します(スポーツ・レクリエーションエリア)。

3月の論点は、都市マスター・プランに沿い、総合計画2023の後期計画に位置づけて推進

野球場やテニスコート、多目的ホールや会議室などで構成され、開通後の地域活性化に重要な位置と考えます。

西部地域の老朽化の進んだ農村環境改善センター（以下農環センター）と西部体育館を、複合的施設として改修すべきと問いました。農環センターは、新名神鈴鹿PAから東に位置し、野球場やテニスコート、多目的ホールや会議室などで構成され、開通後の地域活性化に重要な位置と考えます。

農村環境改善センターと西部体育館を複合化する制度とPPPで実現に！

オガール紫波では、民間資金で体育館とホテルが一緒になった施設が整備されています。そのまま鈴鹿にあてはまらないかもしれません、農環センターの位置と利用法を考えると、同様の施設を検討してよいと思います。また、周辺地域の将来展開も含め、民間投資の可能性は高いと思います。サウンディング型市場調査などのPPP手法も使いながら、事業可能性の検討から早期に取り組んでいくべきと考えます。

オガール紫波では、民間資金で体育館とホテルが一緒になった施設が整備されています。そのまま鈴鹿にあてはまらないかもしれません、農環センターの位置と利用法を考えると、同様の施設を検討してよいと思います。また、周辺地域の将来展開も含め、民間投資の可能性は高いと思います。サウンディング型市場調査などのPPP手法も使いながら、事業可能性の検討から早期に取り組んでいくべきと考えます。

しかし、このような答弁は想定していたので、国の制度である「地域未来投資促進法」の活用性を確認しました。

しかし、このよろづや答弁は想定していたので、国の制度である「地域未来投資促進法」の活用性を確認しました。

そして12月、PPP（公民連携）の活用から、2つの施設を指定管理で別枠とする点と、総合計画2023後期計画に施設更新を記載することを論点にしました。質問に向けては、東洋大のセミナーへの参加や、オガール紫波を現地視察し、その有用性を確認しました。

すべきとしました。しかし答弁は「今すぐ事業展開を進めると考えている」とあり、方向付けができたと思います。

部活動の見直し

部活動の見直しについて、2013年から、教員だけではなく、地域と連携する形を提案しています。ここまで部活動活動指針がつくられるなど、一定の成果は出ていますが、もう一步、改善したいところです。

右図は2013年に提案したものですが、現在、このような形が議論されています。

教員負担を減らしながら、したい子はもっと専門的に、そうでない子は違う活動にもっと参加できるように、部活動を考え直し、休日の体育馆利用のあり方も考えます。

市立体育館を魅力的に

今年12月、市立体育館の大規模改修が終り、来年4月から使用開始の予定です。そこで、スポーツだけではなく、介護予防などの福祉分野、施設を活用したサービスなどの経済分野、江島の図書館分館などと連携したサービス、といった形で、施設を最大限活用する提案を行います。

また、管理運営のコスト面だけでなく、地域経済との関連もふまえながら、施設管理の方策はどういう形がよいのか、指定管理者制度も含め、しっかりと検討するよう、行政に働きかけたいと考えています。

